

2023年3月期 第3四半期決算説明会

2023年1月30日
株式会社オリエンタルランド



I. 決算概要

II. 通期業績予想の上方修正

III. 株式給付信託の導入と従業員のパフォーマンス改定について



I. 決算概要



1. 第3四半期累計実績(前年同期比較)

(億円)

連結損益計算書	前年同期	実績	増減	増減率
売上高	1,903	3,510	1,607	84.4%
テーマパーク事業	1,490	2,870	1,380	92.6%
ホテル事業	343	547	204	59.5%
その他の事業	69	91	22	32.2%
営業利益	△ 16	856	872	-
テーマパーク事業	△ 51	719	770	-
ホテル事業	43	133	90	211.1%
その他の事業	△ 10	1	11	-
経常利益	△ 0	863	864	-
税金等調整前四半期純利益	△ 0	863	864	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 11	600	612	-

入園者数とゲスト1人当たり売上高の増加などから売上高が増加し、増収増益



1. 第3四半期累計実績(前年同期比較)ー 主な増減要因

(億円)

テーマパーク事業①

	前年同期	実績	増減	増減率
売上高	1,490	2,870 ^{*1}	1,380	92.6%

*1 2022年5月末を以って払い戻しを終了した有効期限切れチケットの収入34億円を売上高に計上しています。ゲスト1人当たり売上高には含まれません。

	前年同期比較	主な増減要因
入園者数	上回った	制限緩和による増
ゲスト1人当たり売上高	上回った	
アトラクション・ショー収入 ^{*2}	上回った	<ul style="list-style-type: none"> ・ディズニー・プレミアアクセスの増 ・株主用パスポートの構成比の減 ・変動価格制による高価格帯チケットの構成比の増
商品販売収入	若干上回った	・ダッフィー & フレンズ関連商品の増
飲食販売収入	下回った	・入園者数増加によるテーブルサービス店舗の利用構成比の減

*2 2022年3月期の実績はチケット収入、2023年3月期の実績はアトラクション・ショー収入です。詳細はAppendix P18をご参照ください。

入園者数およびゲスト1人当たり売上高の増により売上高が増加

1. 第3四半期累計実績(前年同期比較) - 主な増減要因

(億円)

テーマパーク事業②

	前年同期	実績	増減	増減率
売上高	1,490	2,870 ^{*1}	1,380	92.6%
営業利益	△ 51	719	770	-

*1 2022年5月末を以って払い戻しを終了した有効期限切れチケットの収入34億円を売上高に計上しています。ゲスト1人当たり売上高には含まれません。

営業利益の増

(億円)

売上高の増	
商品・飲食原価率の減	30
人件費の増	△ 117
前期と当期の雇用調整助成金 ^{*2} の受給差額	△ 66
準社員人件費の増	△ 30
正社員人件費の増	△ 14
その他	△ 6

諸経費の増

諸経費の増	△ 74
エネルギー費の増	△ 20
販売促進費の増	△ 16
メンテナンス費の増	△ 13
事業税の増	△ 9
その他	△ 15
減価償却費の増	△ 9


※コストにおける△表示は、営業利益に対する減少影響を示しています。

*2 雇用調整助成金の受給金額を営業費用から控除しています。

費用は増加したものの、売上高の増加などにより、増益

1. 第3四半期累計実績(前年同期比較) - 主な増減要因

(億円)

ホテル事業 	前年同期	実績	増減	増減率
売上高	343	547	204	59.5%
ディズニーホテル	315	501	185	58.7%
その他ホテル	27	46	19	69.2%
営業利益	43	133	90	211.1%

売上高の増


- ・ 当期、販売客室数の制限を緩和したことによる宿泊収入の増
- ・ 東京ディズニーリゾート・トイ・ストーリーホテルの開業による増

営業利益の増

- ・ 売上高の増
- ・ 人件費の増 (△ 19億円) - 労働時間の増、東京ディズニーリゾート・トイ・ストーリーホテルの開業
- ・ 諸経費の増
- ・ 減価償却費の増 (△ 9億円)

※コストにおける△表示は、営業利益に対する減少影響を示しています。

当期は販売客室数の制限を緩和したことなどにより増収増益

その他の事業 	前年同期	実績	増減	増減率
売上高	69	91	22	32.2%
営業利益	△ 10	1	11	-

売上高の増

- ・ 乗降客数の増によるモルルール事業の増加など

営業利益の増

- ・ 売上高の増

モルルール事業の増収などにより黒字に転換

2. 第3四半期累計実績(10月発表予想比較) – 主な増減要因

	10月予想比較	主な増減要因
売上高	上回った	<ul style="list-style-type: none"> ・入園者数：上回った <ul style="list-style-type: none"> － スペシャルイベント、「ビリーヴ！～シー・オブ・ドリームス～」による増 － レジャー需要の回復による増 ・ゲスト1人当たり売上高：ほぼ同様 <ul style="list-style-type: none"> ・アトラクション・ショー収入：若干上回った <ul style="list-style-type: none"> － 変動価格制による高価格帯チケット構成比の増 － 株主用パスポートの構成比の減 － ディズニー・プレミアアクセスの増 ・商品販売収入：ほぼ同様 ・飲食販売収入：ほぼ同様
営業利益	上回った	<ul style="list-style-type: none"> ・売上高の増 ・商品・飲食原価率の減 ・諸経費の減

入園者数の増加などにより
売上高と営業利益が10月発表予想を上回った



II. 通期業績予想の上方修正



1. 通期修正予想(前期・10月発表予想比較)


(億円)

連結損益計算書	修正予想	前期実績	対前期 増減	対前期 増減率	10月予想	対10月予想 増減	対10月予想 増減率
売上高	4,646	2,757	1,889	68.5%	4,421	225	5.1%
テーマパーク事業	3,788	2,185	1,602	73.3%	3,587	200	5.6%
ホテル事業	729	474	255	53.8%	710	18	2.7%
その他の事業	128	97	31	32.5%	123	5	4.6%
営業利益	973	77	896	-	800	172	21.5%
テーマパーク事業	802	25	777	-	635	167	26.4%
ホテル事業	167	62	105	170.0%	165	2	1.3%
その他の事業	△ 0	△ 13	12	-	△ 2	1	-
経常利益	981	112	868	769.9%	806	174	21.7%
税金等調整前当期純利益	981	116	864	738.6%	806	174	21.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	681	80	600	744.4%	559	122	21.8%
	修正予想	前期実績	対前期 増減	対前期 増減率	10月予想	対10月予想 増減	対10月予想 増減率
入園者数 (万人)	2,100	1,205	895	74.2%	2,000	100	5.0%
ゲスト1人当たり売上高 (円)	15,759	14,834	925	6.2%	15,551	208	1.3%
アトラクション・ショー収入*	7,777	7,049	728	10.3%	7,628	149	2.0%
商品販売収入	4,910	4,548	362	8.0%	4,855	55	1.1%
飲食販売収入	3,071	3,237	△ 166	△ 5.1%	3,068	3	0.1%

* 2022年3月期の実績はチケット収入、2023年3月期の10月発表予想および修正予想はアトラクション・ショー収入です。詳細はAppendix P18をご参照ください。

第3四半期累計実績が10月発表予想を上回り、
第4四半期も好調を見込むことから通期業績予想を上方修正

2. 通期修正予想(10月発表予想比較) - 主な増減要因

テーマパーク事業① 	10月予想	修正予想	増減	増減率
売上高 (億円)	3,587	3,788	200	5.6%
入園者数 (万人)	2,000	2,100	100	5.0%
ゲスト1人当たり売上高 (円)	15,551	15,759	208	1.3%
アトラクション・ショー収入	7,628	7,777	149	2.0%
商品販売収入	4,855	4,910	55	1.1%
飲食販売収入	3,068	3,071	3	0.1%

売上高の増

- ・入園者数の増加による増

入園者数の増

- スペシャルイベント、「ビリーヴ! ~シー・オブ・ドリームス~」による増
- レジャー需要の回復による増


ゲスト1人当たり売上高の増

- ・アトラクション・ショー収入の増
 - 株主用パスポートの構成比の減
 - 変動価格制による高価格帯チケット構成比の増
 - ディズニー・プレミアアクセスの増
- ・商品販売収入の増
 - レギュラー商品の増
 - ダッフィー & フレンズ関連商品の増
- ・飲食販売収入はほぼ同様

入園者数とゲスト1人当たり売上高の増加などにより10月発表予算を上回る見込み

2. 通期修正予想(10月発表予想比較) - 主な増減要因

(億円)

テーマパーク事業② 	10月予想	修正予想	増減	増減率
売上高	3,587	3,788	200	5.6%
営業利益	635	802	167	26.4%

営業利益の増

(億円)

売上高の増	
商品・飲食原価率の減	約40
人件費の増	約△ 30
一時金支給見込みによる増	約△ 25
準社員人件費の増など	約△ 5

減価償却費の減	5
---------	---

※諸経費はほぼ同様

※コストにおける△表示は、営業利益に対する減少影響を示しています。

売上高の増加により営業利益が増加する見込み



2. 通期修正予想(10月発表予想比較) - 主な増減要因

HOTEL ホテル事業	(億円)			
	10月予想	修正予想	増減	増減率
売上高	710	729	18	2.7%
ディズニーホテル	653	663	9	1.5%
その他ホテル	57	66	9	16.0%
営業利益	165	167	2	1.3%

売上高の増

- ・ レジャー需要の回復による宿泊収入の増

営業利益の増

- ・ 売上高の増
- ・ 人件費の増 (約△ 5億円) - 一時金支給見込みによる増

※コストにおける△表示は、営業利益に対する減少影響を示しています。

レジャー需要の回復による売上高の増により増収増益

その他の事業	(億円)			
	10月予想	修正予想	増減	増減率
売上高	123	128	5	4.6%
営業利益	△ 2	△ 0	1	-

売上高の増

- ・ 乗降客数の増によるモノレール事業の増加など

営業損失の減

- ・ 売上高の増

モノレール事業の増収により営業損失が改善



Ⅲ. 株式給付信託の導入と 従業員の賃金改定について



III. 株式給付信託の導入と従業員の賃金改定について

株式給付信託の導入（2月20日より）

目的

- 当社グループ全体の企業価値の持続的な向上を主導するインセンティブを与える。
- 株主の皆さまとの一層の価値共有を進める。

対象

当社の管理職、グループ会社の役員および管理職

従業員の賃金改定（4月1日より）

目的

従業員の働く上での安心を確保し、一人ひとりがより一層活躍できる環境を整備する。

対象

準社員（パート・アルバイト）を含む従業員

基準賃金および時給の引き上げを実施
これにより、従業員平均で約7%*賃金が増加

*株式会社オリエンタルランドの平均です。

引き続き、従業員・役職員一丸となって企業価値の向上に取り組む



Appendix



オペレーションの状況

2023年3月期 第3四半期

		10月	11月	12月
「遊園地・テーマパークにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」における身体的距離の確保についての記載内容		キャパシティの100%以下、前後左右ともに人と人が触れ合わない程度の間隔		
運営時間 (東京ディズニーランド・東京ディズニーシー)		9～21時		
チケット価格 (大人1枚)		～10/10	10/11～	
		1デー	1デー	¥7,900/¥8,400/¥8,900/¥9,400
		10時30分～		

【参考】2022年3月期 第3四半期

		10月	11月	12月
「遊園地・テーマパークにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」における身体的距離の確保についての記載内容		キャパシティの100%以下、ソーシャルディスタンス1m以上		
運営時間	東京ディズニーランド	～10/31	11/1～11/30	12/1～
	東京ディズニーシー	10～19時	9～20時 11/1～11/30 9～21時	9～21時
チケット価格 (大人1枚)		～10/31	11/1～	
		1デー	¥7,900/¥8,400/¥8,900/¥9,400	1デー
			10時30分～	¥7,400/¥7,900/¥8,400/¥8,900



テーマパーク売上高の開示内容の変更について(参考)

従来の開示 (2022年3月期まで)

売上高 (億円)

入園者数 (万人)

ゲスト1人当たり売上高 (円)

チケット収入

商品販売収入

飲食販売収入

対象

- パークチケット
- アーリーエントリーチケット

今後の開示 (2023年3月期から)

売上高 (億円)

入園者数 (万人)

ゲスト1人当たり売上高 (円)

アトラクション・ショー収入

商品販売収入

飲食販売収入

対象

- パークチケット
- アーリーエントリーチケット
- **体験の収益化**
(東京ディズニーリゾート・バケーションパッケージの有償コンテンツ、ディズニー・プレミアアクセスを含む)

ゲストの選択肢を増やすことで体験価値の向上を目指すにあたり、開示内容を変更



2023年3月期 テーマパークイベント・新規アトラクションカレンダー

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
東京 ディズニー ランド	4/1~6/30	★「ディズニー・イースター」				9/15 ~ 10/31 ★「ディズニー・ハロウィン」
	▶ 4/1~ ☆「ジャンボリミッキー！レッツ・ダンス！」	4/1~8/31 NEW	☆「バズ・ライトイヤーのアストロブラスター”アストロ・ヒーロータイム！”			▶ 9/15 NEW ◆「ミッキーの フィルハーモニック」 リニューアル
				7/1~8/31 NEW	☆「スプラッシュ・マウンテン ”びしょ濡れMAX”	
東京 ディズニー シー	2021/9/4~2022/9/3	「東京ディズニーシー20周年：タイム・トゥ・シャイン！」				9/15 ~ 10/31 ★「ディズニー・ハロウィン」
	4/1~9/3 NEW	☆「東京ディズニーシー20周年”シャイニング・ウィズ・ユー”」				
	▶ 4/1~ NEW ☆「ジャンボリミッキー！レッツ・ダンス！」	4/7~6/15 NEW	☆「ダッフィー＆フレンズのビューティフル・レインデーイズ」			
			6/19~9/7 NEW	☆「ダッフィー＆フレンズのテイスティ・サマー・サブライズ」		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東京 ディズ ランド	9/15~ 10/31 ★「ディズニー・ハロウィン」	11/8~ 12/25 ★「ディズニー・クリスマス」		1/1 ~ 1/16 ★お正月の スペシャルイベント	1/18~3/31 NEW	★「ミニー・ベスティーズ・バッシュ！」
東京 ディズ ニー シー	9/15~ 10/31 ★「ディズニー・ハロウィン」			1/1 ~ 1/16 ★お正月の スペシャルイベント	1/18~3/31 NEW	★「ミニー・ベスティーズ・バッシュ！」
		11/8~ 12/25 ★「ディズニー・クリスマス」				
			11/7~2023/1/24 NEW	☆「ダッフィー＆フレンズのウィンター・トウインクリング・タウン」		
					1/25~4/9 NEW	☆「ダッフィー＆フレンズの サークル・オブ・フレンドシップ」
		▶ 11/11~ NEW	◆「ビリーヴ！～シー・オブ・ドリームス～」			

★：スペシャルイベント ☆：プログラム ◆：新規アトラクション・ショーなど
 ※イベントの名称、開催期間および内容は変更になる場合があります。
 ※2023年1月30日時点で公表しているものを記載しています。



2022年3月期 テーマパークイベント・新規アトラクションカレンダー(参考)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
東京ディズニーランド	▶ 4/1 NEW 「ファンタジーランド・フォレストシアター」オープン			▶ 7/2 NEW 「クラブマウスビート」スタート		9/15 ~ 10/31 東京ディズニーリゾートのハロウィーン
	4/5~6/30 NEW 「ハッピーフェア・ウィズ・ベイマックス」					
	▶ 4/19 「ドリーミング・アップ！」再開					
東京ディズニーシー			6/1~9/2	「ダッフィー & フレンズのサニーファン」		9/15 ~ 10/31 東京ディズニーリゾートのハロウィーン
	▶ 4/1 「ビッグバンドビート」再開					2021/9/4~ 2022/9/3 NEW 「東京ディズニーシー20周年：タイム・トゥ・シャイン！」
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東京ディズニーランド	9/15~ 10/31 東京ディズニーリゾートのハロウィーン			1/1 ~ 1/16 東京ディズニーリゾートのお正月		
		▶ 11/1 「東京ディズニーランド・エレクトリカルパレード・ドリームライツ」再開		▶ 12/1 「ディズニー・ライト・ザ・ナイト」再開		
		11/9~ 12/25 東京ディズニーリゾートのクリスマス			1/18~3/30 NEW 「トータリー・ミニーマウス」	
東京ディズニーシー	9/15~ 10/31 東京ディズニーリゾートのハロウィーン			1/1 ~ 1/16 東京ディズニーリゾートのお正月		
			▶ 12/1 「ディズニー・ライト・ザ・ナイト」再開			
		11/9~ 12/25 東京ディズニーリゾートのクリスマス			1/18~3/30 NEW 「トータリー・ミニーマウス」	
	2021/9/4~2022/9/3 NEW			「東京ディズニーシー20周年：タイム・トゥ・シャイン！」		




2024年3月期 テーマパークイベント・新規アトラクションカレンダー(参考)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
東京ディズニーランド	2023/4/15~2024/3/31 NEW			「東京ディズニーリゾート40周年“ドリームゴーラウンド”」		
				7/4~9/6	☆夏のプログラム	
				9/15~10/31 ★「ディズニー・ハロウィーン」		
東京ディズニーシー	2023/4/15~2024/3/31 NEW			「東京ディズニーリゾート40周年“ドリームゴーラウンド”」		
				7/4~9/6	☆夏のプログラム	
				9/15~10/31 ★「ディズニー・ハロウィーン」		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東京ディズニーランド	2023/4/15~2024/3/31 NEW			「東京ディズニーリゾート40周年“ドリームゴーラウンド”」		
	9/15~10/31 ★「ディズニー・ハロウィーン」	11/8~12/25 ★「ディズニー・クリスマス」				
				1/1~1/8 ★お正月のスペシャルイベント		
東京ディズニーシー	2023/4/15~2024/3/31 NEW			「東京ディズニーリゾート40周年“ドリームゴーラウンド”」		
	9/15~10/31 ★「ディズニー・ハロウィーン」	11/8~12/25 ★「ディズニー・クリスマス」				
				1/1~1/8 ★お正月のスペシャルイベント		

★：スペシャルイベント ☆：プログラム ◆：新規アトラクション・ショーなど
 ※イベントの名称、開催期間および内容は変更になる場合があります。
 ※2023年1月30日時点で公表しているものを記載しています。

通期修正予想(前期比較)

テーマパーク事業① 	前期実績	修正予想	増減	増減率
売上高 (億円)	2,185	3,788 ^{*1}	1,602	73.3%
入園者数 (万人)	1,205	2,100	895	74.2%
ゲスト1人当たり売上高 (円)	14,834	15,759	925	6.2%
アトラクション・ショー収入 ^{*2}	7,049	7,777	728	10.3%
商品販売収入	4,548	4,910	362	8.0%
飲食販売収入	3,237	3,071	△ 166	△ 5.1%

*1 2022年5月末を以って払い戻しを終了した有効期限切れチケットの収入34億円を売上高に計上しています。ゲスト1人当たり売上高には含まれません。

*2 2022年3月期の実績はチケット収入、2023年3月期の修正予想はアトラクション・ショー収入です。詳細はAppendix P18をご参照ください。

入園者数の増

- ・ 入園者数の制限緩和による増


ゲスト1人当たり売上高の増

- ・ アトラクション・ショー収入の増
 - － ディズニー・プレミアアクセスの増
 - － 株主用パスポートの構成比の減
 - － 変動価格制の高価格帯チケットの構成比の増
- ・ 商品販売収入の増
 - － ダッフィー & フレンズ関連商品の増
 - － 食品の増
- ・ 飲食販売収入の減
 - － 入園者数増加によるテーブルサービス店舗の利用構成比の減
 - － 入園時間指定券の構成比の増による喫食機会の減
 - － 前期、フードスーベニア好調による減

入園者数およびゲスト1人当たり売上高の増により売上高が増加

通期修正予想(前期比較)

(億円)

テーマパーク事業② 	前期実績	修正予想	増減	増減率
売上高	2,185	3,788 ^{*1}	1,602	73.3%
営業利益	25	802	777	-

*1 2022年5月末を以って払い戻しを終了した有効期限切れチケットの収入34億円を売上高に計上しています。ゲスト1人当たり売上高には含まれません。

営業利益の増

(億円)

売上高の増	
商品・飲食原価率の減	約10
人件費の増	約△ 160
前期と当期の雇用調整助成金 ^{*2} の 受給差額	△ 71
一時金支給見込みによる増	約△ 25
準社員人件費の増	約△ 40
正社員人件費の増	約△ 15
その他	約△ 10

諸経費の増	約△ 140
販売促進費の増	約△ 30
メンテナンス費の増	約△ 25
エネルギー費の増	約△ 25
システム関連費用の増	約△ 15
エンターテイメント関連費用の増	約△ 15
その他	約△ 30
減価償却費の増	△ 15
前期の営業外費用への振替など	

※コストにおける△表示は、営業利益に対する減少影響を示しています。


*2 雇用調整助成金の受給金額を営業費用から控除しています。

コストは増加するものの、売上高の増加などにより、増益



通期修正予想(前期比較)

(億円)

ホテル事業 	前期実績	修正予想	増減	増減率
売上高	474	729	255	53.8%
ディズニーホテル	437	663	226	51.7%
その他ホテル	37	66	29	78.9%
営業利益	62	167	105	170.0%

売上高の増

- ・ レジャー需要の回復による宿泊収入の増
- ・ 当期、販売客室数の制限を緩和したことによる宿泊収入の増

営業利益の増

- ・ 売上高の増
- ・ 人件費の増 (約△ 25億円) – 準社員人件費の増、賞与計上差額、一時金支給見込みによる増
- ・ 諸経費の増
- ・ 減価償却費の増 (△ 12億円)

※コストにおける△表示は、営業利益に対する減少影響を示しています。

レジャー需要の回復による売上高の増により増収増益

その他の事業 	前期実績	修正予想	増減	増減率
売上高	97	128	31	32.5%
営業利益	△ 13	△ 0	12	-

売上高の増

- ・ 乗降客数の増によるモルレル事業の増

営業損失の減

- ・ 売上高の増

モルレル事業の増収により営業損失が改善



投資額・償却費 通期修正予想(前年同期比較)

(億円)

投資額 (有形固定資産・無形固定資産・長期前払費用)	前期実績	修正予想	増減	主な増減要因
テーマパーク事業	608	847	238	
東京ディズニーランド	30	160	129	スペース・マウンテン、ディズニー・ハーモニー・イン・カラー、ミッキーのフィルハーモニックのリニューアルの増
東京ディズニーシー	411	516	104	東京ディズニーシー大規模拡張プロジェクトの増
その他	166	170	4	
ホテル事業	377	164	△ 213	東京ディズニーリゾート・トイ・ストーリーホテル、東京ディズニーシー大規模拡張プロジェクトの減
その他の事業	19	36	17	モノレール事業、劇場事業の増
(消去又は全社)	△ 3	△ 0	2	
合計	1,002	1,048	45	

償却費 (有形固定資産・無形固定資産・長期前払費用)	前期実績	修正予想	増減	主な増減要因
テーマパーク事業	365	380	15	
東京ディズニーランド	155	163	7	
東京ディズニーシー	125	124	△ 1	
その他	83	92	8	
ホテル事業	36	48	12	東京ディズニーリゾート・トイ・ストーリーホテルの増
その他の事業	32	33	0	
(消去又は全社)	△ 0	△ 0	0	
合計	432	462	29	

※償却費には営業外費用の振替額は含んでいません。



投資額・償却費 通期修正予想(10月発表予想比較)

(億円)

投資額 (有形固定資産・無形固定資産・長期前払費用)	10月予想	修正予想	増減	主な増減要因
テーマパーク事業	956	847	△ 108	
東京ディズニーランド	190	160	△ 30	スペース・マウンテンの支払いの時期ずれによる減
東京ディズニーシー	577	516	△ 60	東京ディズニーシー大規模拡張プロジェクトの支払いの時期ずれによる減
その他	188	170	△ 17	システム投資の支払いの時期ずれによる減
ホテル事業	191	164	△ 27	東京ディズニーシー大規模拡張プロジェクトの支払いの時期ずれによる減
その他の事業	38	36	△ 1	
(消去又は全社)	△ 0	△ 0	0	
合計	1,185	1,048	△ 137	

償却費 (有形固定資産・無形固定資産・長期前払費用)	10月予想	修正予想	増減	主な増減要因
テーマパーク事業	386	380	△ 5	
東京ディズニーランド	163	163	△ 0	
東京ディズニーシー	130	124	△ 6	
その他	91	92	0	
ホテル事業	48	48	0	
その他の事業	33	33	0	
(消去又は全社)	△ 0	△ 0	△ 0	
合計	467	462	△ 5	



株式会社オリエンタルランド 経理部IRグループ

047-305-2034 www.olc.co.jp

注意事項：

本資料は、OLCグループの業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料にて開示されているデータは、発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。当社グループの事業は、顧客嗜好・社会情勢・経済情勢等の影響を受けやすい特性を持っているため、本資料で述べられている予測や見通しには、不確実性が含まれていることをご承知おきください。

テーマパーク入園者数については単位未満を四捨五入、財務データについては単位未満を切り捨てて記載しています。
本資料の転載はご遠慮ください。